

「つくばみらい市防災訓練」 を実施しました！



全市民に対し「避難指示」を発令！

午前10時、全市民に対し避難指示を発令、防災行政無線などで周知し、避難行動の確認、玄関先までの避難を促しました。



発災時さながらの緊張感で、災害事象に対応！

避難行動要支援者の輸送訓練のほか、情報共有室、災害警戒本部の設置訓練を実施し、職員の災害対応を確認しました。



7月6日、つくばみらい市防災訓練を実施しました。訓練は「大雨の影響で鬼怒川・小貝川が増水し、氾濫の危険性が高まっている」という想定で行いました。

災害発生時には、まず「自分の命は自分で守る」＝「自助」、「みんなで助け合う」＝「共助」が大切です。市民一人ひとりが災害に対して十分な準備ができるように、自助・共助の知識の普及・啓発を図り、本市の防災力向上を目指します。

図 伊奈庁舎防災課（内線 2502）

富士見ヶ丘小学校で防災イベント！

避難指示を受け、谷原地区の一部住民が富士見ヶ丘小学校に避難しました。同校では、備蓄品やワンタッチテントの展示のほか、市内在住の防災士による「防災クイズ」や「防災グッズ作り」を実施しました。



原水爆禁止訴え、平和大行進

図 伊奈庁舎秘書広報課（内線1104）

原水爆の禁止と核兵器の廃絶を訴える「原水爆禁止国民平和大行進」は、全国各地を11のコースでつなぎ、人々に核兵器の廃絶を訴えています。今年も平和大行進の「リレー旗」が7月8日に伊奈庁舎に到着し、渡邊副市長、鐘ヶ江議長、町田教育長が、それぞれ署名したペナントを「リレー旗」にくくり付け、恒久平和の実現を願いました。本市は平成18年に「非核平和都市」を宣言しています。



つくばみらい市非核平和都市宣言

世界の平和と安全は、人類共通の願いである。

しかし、現在この地球上には数多くの核兵器が存在し、また、戦争や紛争も後を絶たず、人類の生存や自然環境に大きな脅威と不安をもたらしている。

世界で唯一の核被爆国の国民として、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の意義を世界の人々に訴えていかなければならない。

ここにつくばみらい市は、非核三原則の堅持と恒久平和の実現を願い、安心して安全な市民生活を守ることを決意し、非核平和都市とすることを宣言する。

平成18年9月

教えて！

まみりん

市消費生活センター
イメージキャラクター
まみりん

図 市消費生活センター
(谷和原庁舎1階)

☎0297 - 25 - 3288

【今月のテーマ】子どものゲーム

子どもに使わせるスマートフォンに注意！

子どもが親の知らないうちに、スマートフォンでオンラインゲームに課金したという事例が増えています。課金額は平均33万円と高額です。ゲームをして夢中になっているうちに、スマートフォンに保存されているクレジット情報を使って簡単に課金できてしまいます。

親のスマートフォンを、そのまま子どもに渡していませんか？ 祖父母でも同じです。古いスマートフォンをWi-Fiで使うだけだからといってそのまま子どもに渡したり、クレジット情報をスマートフォンの中に保存したままにいませんか？

子どもを利用者としてゲームアカウントに登録してから、スマートフォンを渡しましょう。子どもの使うスマートフォンに残っているクレジット情報は削除し、日ごろから決済完了メールや明細をこまめに確認しましょう。

保護者の同意なく未成年の子どもが行った取り引きは取り消しできることがあります。ご相談ください。